



企業との協働による 食支援のしくみづくりが始動

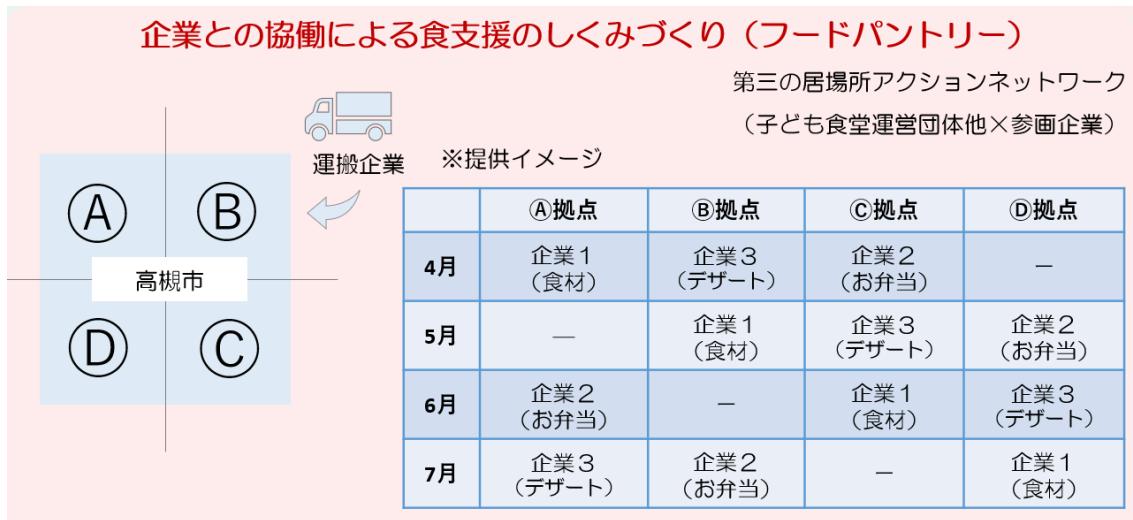
市域全域に支援を広げる

認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえによる休眠預金事業「居場所の包括連携によるモデル地域づくり・全国」。この事業では高槻市域を対象に、「つながる・食べる・学ぶ・生活を支える」をキーワードに民と民、官と民の連携による面（セーフティネット）を構築することを目的として「地域から広がる第三の居場所アクションネットワーク」を発足し、2か年目もおかげさまでますますの広がりを見せています。

今年度は、食支援を市域全域に広げるべく地元企業との連携を試みました。複数の企業にご参画いただき、昨年11月からスタート。食材やお弁当、デザートなど企業の力があってこそその食の提供が実現しています。この取り組みは、こども食堂等への支援のみならず、こどもたちが“食”を通してさまざまな体験や経験を得るきっかけになっています。みなさまの引き続きのご支援どうぞよろしくお願いいたします。

ひとりぼっちのいないまちづくり

特集 「企業との協働による食支援のしくみづくり」始動



食支援を市域全域に広げるべく、市域広域事業「第三の居場所アクションネットワーク」を通して市内の子どもを対象に食支援を実施する団体（子ども食堂に限らない）と、企業との協働による食支援のしくみづくりが昨年11月からついに始動。市内にスーパーを展開されている「株式会社ミートモリタ屋」さまからは食材を、回転寿司喜楽でおなじみの「株式会社彩」さまからはお弁当をご提供いただきます。さらに、不動産を扱う「株式会社甲和ビルドふくろうのおうち」さまよりご支援をいただきモリタ屋さまのデザートを提供できることとなりました。子ども食堂等への食材や物資の支援の多くは、車で取りに行くことが条件となりハードルが高くなりがちですが、今回は「株式会社宮田運輸」さまがご参画くださり、各食支援団体へ運搬してくださることとなりました。現在食支援を実施されている4つの団体への提供がはじまり、月ごとにさまざまな食を届けることができます。

株式会社ミートモリタ屋さま

株式会社ミートモリタ屋さまからは食材をご提供いただいています。食材は、子ども食堂等を利用する子どもたちが一緒に調理を体験する機会（社会体験）ともなるように、具体的なメニューを想定してご提供いただいています。初回はカレーでした。

食材提供のおかげで、トッピングやサラダを足すことができ各団体さまそれぞれ豪華な仕上がりになりました。

西法寺で開催の子ども食堂「えん食堂つむぎ」さんへは12月にご提供。お寺でのクリスマス会は仏教（インド由来）にならってカレーを食べる予定だったそうで「かなりタイムリーで重宝しました」「大切にに使わせていただきます」とメッセージをいただきました。





株式会社彩 回転寿司喜楽さま

株式会社彩回転寿司喜楽さまからはお弁当等をご提供いただいています。生ものや新鮮なお魚は普段、衛生面や安全面でのリスクが高く提供することが難しいので、海鮮たっぷりの豪華なちらし寿司に子どもたちは大喜びだったそうです。「ちらし寿司大好評でした！」「普段調理に使う時間を子どもたちのために使うことができました」と各団体よりメッセージをいただきました。



株式会社甲和ビルド ふくろうのおうちさま

株式会社甲和ビルドふくろうのおうちさまからのご支援によりデザートのご提供が実現しました。今回はモリタ屋さまのゼリーをお届け。フルーツたっぷりで彩豊かなゼリーでテーブルが華やかになりました。きよさきあーちゃん食堂さんが送ってくださった活動写真には嬉しそうな子どもたちの様子がたくさんうつっていました。



株式会社宮田運輸さま

各企業さまの店舗から各こども食堂等の団体へそれぞれ運搬して下さる株式会社宮田運輸さま。「こどもミュージアムプロジェクト」として子どもたちのイラストがラッピングされたトラックを使用し、交通事故を減らす取り組みもされています。

「いつも丁寧に届けてくださりありがとうございます」と各所からメッセージをいただいています。



この取り組みは現在 4 つの市民団体さまへ、各所20~40食程の提供食数からスタートしています。

ご参画いただいた企業さま、みなさまいつもありがとうございます。

企業さまにもできるだけ負担感がなく、持続可能な方法を検討しながら、より充実した協働の実現を

目指していますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

また、ご支援、ご参画いただける企業さまを随時募集しております。

富田地域事業この間の動き

生活応援・緊急食糧支援を実施

3年に及ぶコロナ禍に加え相次ぐ物価高騰で家計が厳しくなっていることから、これまでのフードパントリーを拡大して富田富寿栄住宅入居者を対象に「生活応援・緊急食料支援」を2月26日に実施。

主催したのは富田まち・くらしづくりネットワーク、富田富寿栄連合自治会。同老人会、富田支部、WAKWAK、社福つながりで構成された実行委員会。ボランティアスタッフは9時に会場の富田富寿栄西公園に集合し、提供食料の仕分け作業等の準備。

10時開始前から提供を希望する住民の方が参集し、37名の方に食料を配布。毎月継続して食糧支援を必要とする方の受付には28世帯の方が新たに登録されました。食料配布にとどまらず、要支援者への顔の見える支援体制スキームづくりがこの事業の目的です。



コミュニティスペース NikoNiko オープンデイを開催



「多様な人が『つながる・包み込む・出会う空間』を高槻富田地区に」と呼びかけたクラウドファンディングでは142名から2,700,551円のご寄付をいただき、「大阪府地域人権金融公社(ヒューマインド)による休眠預金助成事業」も活用して2021年3月に開設されたコミュニティスペースNikoNiko」のオープンデイを3月4日に実施。

新型コロナ禍で2年遅れて、お披露目を兼ねてのオープンデイは、午前10時、午後1時の2回に分けて分散しての開催。「コミュニティスペースNikoNikoを使ってどのような活動ができるか」をテーマにグループに分かれてのワークショップもあわせて開催しました。ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。



01

学びの支援プロジェクトが始動

市域広域事業「学びの支援プロジェクト」が始動しました。1月29日の第一回目の研修からこれまで数回の研修を重ねています。

本プロジェクトに参加して下さっている学生のみならずと共に、「子どもたちの行動の背景にあるものに寄り添う」をテーマに、社会的養護をはじめとする社会的不利を抱えた子どもたちへの支援の在り方やエンパワメントを促すスキルについて学ぶ場として、多くの学生さんが参加して下さいました。

皆さんの真剣に、熱心に学ぶ姿勢にこちら側も刺激を受けながら、学びを深め、そして互いの関係性も深めてゆく時間となりました。あたたかい雰囲気の中、本プロジェクトを始動することができて、とても光栄に思います。



02

大学研究者事業評価会を開催



2月20日(月)13時～15時に、プロジェクトに関わっていただいている大学の研究者の方々にお集まりいただき、事業評価会を行いました。

この日は、プロジェクト座長の志水宏吉先生(阪大教授)、高田一宏先生(阪大教授)、若槻健先生(関大教授)、内田龍史先生(関大教授)、今井貴代子先生(阪大助教)、相楽典子先生(平安女学院大助教)にご参加いただき、休眠預金事業(居場所の包括連携によるモデル地域づくり)への事業評価はもとより、出口戦略としての次の法人の方向性(法人中期計画)へのご意見など様々な視点から多数のご意見を頂きました。

ご参加いただいた研究者の皆様ありがとうございました。

03

「社会の温度計をあげよう」
学習会を開催

コミュニティスペース NikoNiko で地域の小中学生と平和や命・人権について考える学習会を開催しました。参加した子どもたちからは「社会の温度計を上げる」「安心・つながりの輪をつくる」「自分の命・人の命を大事にする」など素敵な言葉が飛び出しました。今回の学習会で子どもたちが真剣に考えた“まちの温度を上げること”や“命と平和について”その熱い想いを途切れさせることのないよう、改めて日々のつながりを大切に活動していきたいと思えます。



04

学習支援事業わんぴーす
の最近のようす

地域の中学生を対象に実施している学習支援事業わんぴーすでは、近年卒業生たちが勉強や相談・近況報告に来ています。今年度は講師として来てくれている大学生の中に、当時わんぴーすを利用していた卒業生の姿があり頑張ってくれていました。しんどいことも楽しいことも含めて顔の見える関係を大切にしながら、共に過ごした日々が足跡となり、地域の子どもが還る場所となっていることを実感しました。

info

〔 会員継続と支援のお願い 〕

賛助会員として広く活動を支援して下さる方を募集しています。なお、正会員は社員として議決権を有します。継続の方の会費支払いにつきましては年度当初に改めてご案内を送付させていただきます。

○正会員（団体）1 口1万円（個人）1 口5千円

○賛助会員（団体）1 口1万円（個人）1 口1千円

当法人 HP の申込みフォーム欄にてご連絡先住所等の必要事項を送信いただいた上、会費を直接ご持参いただくか下記の郵便口座にお振替下さい。（領収書が必要な方は、その旨、お申し出ください）

会費振替口：00990-6-201524 口座名：タウンスペース WAKWAK

（編集後記）

たくさんの方との出会いとご協力のもと市域全域への支援が実施できていることを実感します。今後とも、富田地域を基盤により多くの人に支援を届けていくためにも継続したご支援はもとより新たなご支援をぜひともよろしくお願い申し上げます。